小学生の部　大賞

「晩ご飯は、暖麻の好きなエビカツだよ。今日も気をつけてね。行ってきます。」

ぼくのお母さんは、ぼくが起きる時間に家を出る。早く出勤して、少しでも早く仕事を終わらせ、ぼくの好きなご飯を作るためだ。

「毎日三十品目。」も口ぐせで、おかげでぼくは、ほとんど風邪を引かず、体格も良く、靴のサイズはお母さんより一・五センチも大きくなった。

お母さんがぼくのことばかり気にしているので、ぼくは、いつも忘れそうになるけれど、一日の半分近くは仕事をしている計算になる。残業も多く、お父さんより遅くなる日もある。すごく疲れた顔をしている時もある。そんな時でも、休日の作り置きを活用して、ぼくの好きなメニューを急いで準備してくれる。

「お仕事無理しないでね。今日も気をつけていってらっしゃい。」

お母さんが幸せな気持ちで出勤できるよう、感謝の気持ちを込めて見送りたい。

愛知県あま市 小学６年生
鈴木（すずき） 暖麻（はるま）さん